



元旦に発生した能登半島地震。家族団らんの中テレビが地震速報に切り替わり、子どもたちも何か大変なことが起こったのかな！？と感じたことでしょう。その後のニュースや映像で、建物が揺れたり地面が波打つところ、津波で家や車が流されているところを見たり聞いたりした子どもたちもいると思います。このような自然災害は止めることはできませんが、いつ起きるか分からない災害のときにすばやく避難したり、その時にどうしたらいいのか、少しでも知識を頭に入れておくことが大切なのだと感じました。みそらこども園では毎月避難訓練を実施し、職員間の連携や子どもたちの避難の仕方を確認し合っています。

1月19日に災害時の防災食体験&引き渡し訓練がありました

以上児さんがホールで防災食体験を行いました。まんまる一むの先生から「地震や台風などの災害が起きて、ガスや水道などが止まってしまった場合、まんまる一むでもご飯やおかずが作れなくなるよ」と話がありました。万が一のために、園の廊下の



備蓄棚には災害時用の非常食や水、カセット

コンロなどが置いてあります。子どもたちにもその場所を確認してもらい、

そこから水とカセットコンロを持ってきてもらいました。今回の非常食はわかめごはん

と肉じゃが。一人ひとつずつあったので、自分の名前を書き、それぞれ水を入れていきました。

「わかめごはんはパックの中に水を入れて一時間待つとできあがる」という話を聞いて、

「え！なんで？すごっ！」とびっくりしていました。



次は肉じゃがです。さっき持ってきてもらった水を大きい鍋に入れました。晴れていたら、木下さん特製のドラム缶で火を起しお湯を沸かす予定でしたが、今回はカセットコンロでお湯を沸かし、肉じゃがを温めました。完成したわかめごはん



と肉じゃがは、それぞれお部屋やテラスで食べました。初めて食べたであろう非常食ですが、子どもたちは「おいしい！」と大絶賛☆中には「じゃがいもが苦手…」という子もいましたが「本当に避難して食べるものがなかったらどうする？少しでも食べられるといいな」と話すとがんばって口に運ぶ姿が見られました。未満児クラスも同じように非常食を食べました。紙皿やプラスチックなど、いつもと違うものに「？？？」という表情でしたが、お腹が空いていたようでたくさん



また、この日は緊急時の職員の動きや役割の確認、保護者の方への素早い引き渡しのための訓練日でもありました。ご協力ありがとうございました。今年は年明けから災害が起き、改めて今の日常が当たり前ではないことを痛感しました。今年も子どもたちと一日一日を大事に過ごしていきたいと思っています。よろしくお願いたします。